真空管式ステレオプリアンプ取扱説明書

ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

本機はフォノイコライザー機能付（MM 及び MC 対応）ステレオプリアンプです。パワーアンプではありませんので直接スピーカを鳴らすことはできません、ご注意ください。外部入力 3 系統、PHONO 入力 1 系統、外部出力（REC）1 系統、プリアウト出力 1 系統を備えています。また LR のバランスコントロール機能を搭載しています（トーンコントロール機能は備えていません、ご了承ください）。

本機は真空管を使用しており､内部に 200V の直流電圧を発生させる DC-DC コンバータを内蔵しています。高圧電源はアルミダイカストのケースに収められていますが、万が一に備えて天板上にある真空管やコンデンサの取扱いには充分に注意して下さい（コンデンサは天板上では絶縁されているものの高圧電源から直に配線されています）。

CD やレコードプレーヤや等の外部機器を接続する際（とり外す際）には、必ず本機の電源を OFF の状態で行ってください。ON の状態で急に接点の変化があると感電、火災、故障の原因になります。また電源を入れる前には音量を最小にしてください。通電後、真空管が熱を持ちます。真空管の内部箇所によっては 100℃程度まで上昇します。本機では、ボンネットやカバー等は備えておらず、真空管はむき出しの状態で天板に設置されていますので、真空管には直接触れないようにし、やけどには充分注意してください。

万が一、本機内部に水や異物が入った場合は、すみやかに電源を落とし電源コードをインレットから抜いてください。その後お手数ですが紙面の最後に記載してある連絡先までお問い合わせください。また電源コードにつきましては濡れた手での取り扱いは避け、重い物を乗せたり、コード自体に力（物理的ストレス）が加わらないようにしてください。

・　各部の名称と働き

図 1：上面写真

図 2：背面写真

図 1 は本機の上面の写真です。写真左上に見える三つの真空管は 12AU7 です。交換の際には末尾の番号が 5963/ECC82/6189 のいずれかを使用してください。また中央に見える三つの黒い円筒、右上に見えるシルバーに黄色のラベルの円筒はそれぞれコンデンサです。写真中央身右に見える 12 個の PIN ジャックはそれぞれ入力や出力の端子、中央下に見える二つのボタンはボリューム、ファンクションスイッチ及び LR バランスコントローラです。

図 2 は本機の背面の写真です。向かって右側が電源インレット（ヒューズホルダ付）、左には電源スイッチが見えます。

図 3 は正面右側（インジケータ部）の写真です。入力セレクタのポジションによって表示される LED が移動します。

図 4 は正面左側（anotherDoor ラベル部）の写真です。本機の天板にあるケーブルが接続されている金色の端子はレコードプレーヤの GND 用端子です。レコードプレーヤを使用する場合に接続してください。

図 3：正面右側（インジケータ部）写真

図 4：正面左側（anotherDoor ラベル部）写真

・使用方法

1. 電源スイッチを OFF、ボリュームが最小の状態で電源ケーブルを接続してください。
2. 図 5 を参考に入力及び出力信号ケーブルを接続してください。それぞれ、①：AUX1　②：AUX2　③：PHONO 入力　④：AUX3　⑤：外部出力（REC）　⑥：プリアウト出力 に対応しています。例えば CD を入力する場合は①、②または④へ、レコードプレーヤを入力する場合は③へ接続してください（レコードプレーヤ側にフォノイコライザ機能がある場合は①、②または④へ接続して下さい）。⑥はプリアウト出力端子ですのでお手持ちのパワーアンプに接続してください。また⑤は入力した信号を録音する場合などに使用してください（MD やテープなどの録音機に接続してください）。
3. 接続が全て完了しましたら、電源スイッチを ON にしてください。真空管がわずかに光り始め、図 6 のインジケータ部写真の電源インジケータ（LED）が赤く光ります。この LED は電源を ON にしている間はずっと点灯しています。同時に①の LED が点滅することを確認してください。しばらくすると点滅が点灯に変わり、入力の①：AUX1 がアクティブになります。
4. 次に図 5 のファンクションスイッチ及び LR バランスコントローラを押し（つまみ及びボタンになっています）インジケータが①→②→③→④→①と移動することを確認してください。入力信号のファンクション番号に対応しています。例えばレコードプレーヤを使用する場合には③の位置でご使用ください。
5. 音を出します。ボリュームを上げてスピーカの音を調節してください。また LR バランスコントローラで左右のスピーカの出力バランスを変えることができます。左右のスピーカで特性が異なっている場合は調整してください。
6. また本機右側面（図 2 では向かって左側）に、レコードプレーヤのカートリッジ（MM/MC）の切り替えスイッチがあります。MC の場合は押し込まれた状態、MM の場合は飛び出ている状態でご使用ください。

図５：信号入力及び出力 PIN ジャック部写真
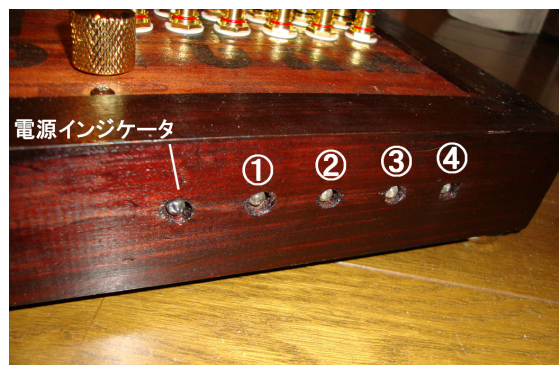
図６：インジケータ部写真

・仕様

●真空管：5963 または 6189W（12AU7）×3

●入力：PHONO×1（MC/MM）AUX×3

●出力：PRE-OUT×1、REC-OUT×1

●入力抵抗：PHONO：100Ω（MC）、50kΩ（MM）、AUX：40kΩ

●定格入力：PHONO：0.3mV（MC）、2.7mV（MM）AUX：230mV

●最大出力（1kHz、THD2%)）：PRE-OUT：22V、REC-OUT（PHONO 時）：13V

●ラインアンプゲイン：約 2.1 倍（6.5dB）

●カートリッジ負荷抵抗：47kΩ（MM）、100Ω（MC）

●SN 比（IEC）：PHONO：84.5dB（MC）、72.5dB（MM）、AUX：94dB

●周波数特性：PHONO：RIAA 偏差 0.8dB 以内、AUX：2Hz～130kHz（-3dB）

●電源入力：100V 50/60Hz（消費電流 2A 以下、消費電力：約 15W）

●サイズ：約 W316×D265×H50mm（真空管、コンデンサ等の突起部含まず）

※　真空管は消耗品です。時間の経過にしたがって劣化します。ものによっては突然故障することも少なくありません。その際は交換することができます。本機は 12AU7（末尾の番号が 5963/ECC82/6189 のいずれか）という真空管を使用していますので同じものを入手して交換してください。専門の方に依頼するか、下記まで問い合わせることをお勧めします。

※　本機は樽出しの誇り高きスモールバッチバーボン「Booker's」の木箱を使用しています。音質もさることながら概観のデザインからもそれらしい雰囲気を味わえると思います。存分に音楽とともに贅沢な時間をお楽しみください。

noir Design lab.,

TEL(046)222-2003 | E-mail: noir@beige.plala.or.jp